

## 成果の説明書

(氏名) 太田 慧	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p><b>【教育上の成果に関する事項】</b></p> <p>本年度は初年次ゼミ、情報基礎 I (B)、情報基礎 I (C)、地理情報システム論、地理学、基礎演習、演習 II を担当した。詳細は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・初年次ゼミ：1 年生を対象として、少人数での輪読やプレゼンテーションの練習を実施した。</li><li>・情報基礎 I (B)：1 年生を対象として、これからの大学生活で必要となるコンピューターを使った情報処理について基礎的な講義および実習を実施した。</li><li>・情報基礎 I (C)：同上</li><li>・地理情報システム論：地理情報システム (GIS) の基礎的な理論や考え方を伝え、地理情報システムのソフトウェアである QGIS を用いた実習を実施した。</li><li>・地理学：地理学の基礎的な考え方や理論を紹介し、主に人文地理学のテーマを具体的な地域をとりあげながら説明することで、地理学的な知識の定着を図った。</li><li>・基礎演習：2 年生向けのゼミを担当し、観光地理学の書籍「ツーリズムの地理学－観光から考える地域の魅力－ (二宮書店, 2019 年)」の輪読を行った。</li><li>・演習 II：4 年生向けのゼミを担当し、卒業論文指導を行った。9 月にはゼミ合宿を実施し、2 月の卒論発表会において成果報告を行った。ゼミ生の卒業論文は卒業論文集としてまとめた。</li></ul> <p><b>【研究上の成果に関する事項】</b></p> <p>周辺地域における海岸観光地の存立基盤の研究として、2019 年 9 月にオーストラリア・ケアンズ、2020 年 2 月に沖縄県宮古島における現地調査を実施した。</p> <p>今年度に公表した研究上の成果は以下のとおりである。</p> <p>(論文)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・池田真利子・坂本優紀・中川紗智・太田 慧・杉本興運・卯田卓矢 (2019)：夜と景観－見えない夜と感じる闇－, 地理空間</li><li>・杉本興運・太田 慧・飯塚 遼・坂本優紀・池田真利子 (2019)：飲食店の集積と営業時間からみた商業地特性の分析－夜間の新宿・銀座・渋谷の比較－, 地理空間</li></ul> <p>(学会発表)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・太田 慧：東京臨海部における土地利用変化と近年の動向, 群馬地理学会, 2019 年 11 月 4 日</li><li>・太田 慧：沖縄県宮古島における利用料金別にみた宿泊施設の特徴, 日本地理学会春季学術大会, 2020 年 3 月</li></ul> <p>(研究費)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・日本学術振興会 若手研究「周辺地域における海岸観光地の存立基盤と適正利用に関する比較研究」, 研究代表者：太田 慧 (継続)</li><li>・高崎経済大学地域科学研究所「地方都市中心市街地研究－人口減少時代におけるまちづくり－」, 研究代表者：阿部圭司 (新規)</li></ul> <p><b>【職務上の成果に関する事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・オープンキャンパスにおける模擬講義を担当 (2019 年 7 月)</li></ul>	

## 2 その他の事項

### 3 次年度以降の計画・抱負

#### 【教育関連】

今年度担当した科目の改善を行うとともに、次年度に新たに担当する地域統計論および演習Ⅰの内容を充実したものとさせる。

#### 【研究関連】

昨年度から継続して取り組んでいる周辺地域における海岸観光地の存立基盤と適正利用に関する研究を進め、学会や論文発表を通して公表する予定である。